

Harmony

vol.189

2021 春号



特集

安心して手術を
受けるために



切れ目のない消化器がん診療を行うために

当院は1998年、外科を開設以降、消化器外科を中心に基幹病院と連携し、後方支援病院として食道がん術後の患者さんの全人的医療を行って参りました。これまで培った経験を活かし2017年6月に周術期管理センターを立ち上げました。

そもそも周術期管理とは、手術そのもののリスクだけではなく、その他の様々なリスクに対して事前に評価して対策することです。特に高齢者の手術につきましては、複数の基礎疾患、認知機能の低下、内服薬管理（抗凝固薬や糖尿病薬など）、低栄養筋肉量低下、嚥下・口腔機能低下、社会的リスク（独居、老老介護）など、さまざまなリスクがあります。多くのリス

を抱えた患者さんに対してしっかりとした管理をするためには多職種で構成される周術期管理チームが必要だと考えております。

周術期管理センターのメンバーは、入退院支援センター、医師、嚥下を含めたスペシャルニーズ歯科連携部門、栄養管理部門、ADL向上部門、疼痛緩和および創部管理部門、生活環境調整部門で構成されております。

患者さんが安心して在宅復帰できるよう、チームで一丸となって支援していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

退院後の生活が少しでも安心できるように

病気の発症を機に今までできていたことが入院中に難しくなることがあります。退院後、ご自宅で「薬がきちんと飲めないなあ」「受診以外に看護師さんに訪問してほしい」等様々な心配事や不安を感じられることかと思えます。

そういった時にソーシャルワーカーや退院支援看護師がお話を聞き、病状や動作状況など、ご自宅の状況に応じてどういった介護サービスが必要なのか、今後の生活について一緒に考えさせていただきます。

また、自宅生活で万が一状態が悪くなった場合、すぐに相談いただければ再入院の対応をいたします。一連の治療を終えた後のフォローを含めて管理することが当院の周術期管理センターの立ち位置と考えております。何か困ったことがございましたら入退院支援センター（TEL:086-282-5311）までご相談ください。



退院後によくある相談

Case
01

熱が出た

肺炎や肝胆膵外科治療後であれば胆管炎などの可能性があります。

Case
02

おなかが痛い

下痢の場合は感染症、便秘異常では便秘・腸閉塞などの可能性があります。

Case
03

ごはんが食べられない

器質的狭窄や副腎皮質機能低下症などの可能性があります。

Case
04

以前のように動けなくなった

下肢筋力低下や栄養状態の不良が考えられます。



手術前後の様々なニーズに応じていきます

周術期管理センターは2017年6月に立ち上げました。高度急性期病院との医療連携を行い、回復期病院の周術期管理センターとして高度急性期病院と消化器がんの医療連携を通して情報交換を行ってきました。医師が直接訪問して当院での役割をお伝えしたり、看護師同士での情報交換を行う「看看連携」などを通じて私たちは、がんの周術期管理以外にも様々なニーズがあることを高度急性期病院側より教えていただきました。

すぐに手術ができない難しい症例や、ベッドの都合があり自院で対応できないのでお願いしたいなど、様々な依頼を受けてまいりました。次ページにて

少し紹介させていただきます。

私たちは現在、透析シャント、消化器疾患、呼吸器外科、頭頸部外科、整形外科などの周術期管理を行っております。回復期病院の周術期管理センターとして高度急性期病院が高度急性期治療をスムーズに行うことができるよう支援して参りますので、何かお困りのことがあればぜひ重井医学研究所附属病院の周術期管理センターへご相談ください。

消化器疾患以外の様々な症例も診ています

Case.1

腱板断裂後のリハビリテーション

腱板断裂は、肩の深層筋群の断裂によって肩の痛みが強くなり、肩の安定性が低下することで腕が上がらなくなる状態です。当院では、肩の運動機能の回復を目的に、腱板断裂術後の治療を行っています。

入院中は腱板の再断裂を予防するために、外転装具という固定装具を装着して過ごしていただきます。術後の痛みの軽減、手術した肩の拘縮予防を目的とした関節可動域運動やベッド上での肩のストレスを軽減するための姿勢調整、入院中の廃用性筋力、筋持久力低下予防のための筋力運動や有酸素運動を行います。外転装具を装着した状態でも患者さんが不自由なく、安心して入院生活を過ごせるように、更衣や入浴、装具の脱着動作も訓練として実施しています。また、退院後も手術した肩の筋力増強や関節可動域の増大を目的とした外来リハビリを行うことで、肩の機能回復を図っています。



Case.2

手術前の減量支援

手術を行う上で体重管理は非常に重要で、麻酔や術後の管理に重大な影響が出ると言われています。肥満症の患者さんは基礎代謝が高く、筋肉量や水分も多いため、食事量を減らすとすぐに体重減少が見られますが、食事療法だけの減量では停滞期があります。この停滞期に、健康運動指導士や理学療法士による運動療法を行うことで減量に大きな効果があります。また、血液検査の改善やInbodyを用いた体脂肪の変化を実感することで減量への意欲を高め、管理栄養士が食行動や生活背景の問題を抽出し是正していきます。

入院での減量のための低エネルギー療法は、医師による経過への対応で安全に減量できますのでそのようなご相談がありましたらぜひご連絡ください。



まもなく新型コロナウイルスワクチン接種開始

新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るい、日本国内でも感染者や発症者が多数発生しました。現時点(4月)では、岡山県内の感染者数は抑えられているものの、一部の地方では増加傾向にあります。

ワクチンの高い効果と低い危険性

一方で、2月から医療従事者を対象に先行接種が始まり、当院でも接種を行いました。ワクチン接種は、集団接種が世界で最も進んでいるイスラエルで効果の高さが実証されています。また心配された安全性も今までの厚労省の副反応検討部会の副反応発症の報告例では、重大な懸念は認められないと評価しています。ただし、ワクチンの性質上、発赤、腫脹、発熱、倦怠感などの副反応がみられこともあり、ごくまれに全身にアレルギー症状が表れ、血圧低下や意識障害など命に危険がおよぶことがあるアナフィラキシーショックが起こることがあります。しかし適切な治療を受けることでほとんどの方は回復します。当院でも、迅速な対応がとれる体制を整えています。



接種後も感染対策を引き続きお願いします

岡山市の場合、4月から高齢者施設の入所者、5月にその他の高齢者の順に接種が進められる予定です。予防接種を受ける方には、感染症予防の効果と副反応のリスクについて理解した上で、自らの意志で接種を受けていただくようになります。

発症予防に効果的なワクチンですが、厚労省は

接種を受けた後も引き続き、3つの密の回避、マスクの着用、手指消毒の励行などの感染予防対策を講じることを推奨しています。新型コロナウイルス感染症の終息が迎えられるように皆様引き続き感染症予防の対策をお願いいたします。

新型コロナウイルス自費検査をしています

新型コロナウイルスの自費診療でのPCR検査を1回、33,000円(税込)で実施しております。お仕事のご都合で陰性証明書を必要な方など、さまざまな事情で検査を希望される無症状の方を対象としています。症状がある方や行政検査の対象となった方は対象外となっております。申し込みにつきましては、086-282-5311(代)にお電話をお願いいたします。



※詳しい情報につきましてはHPに掲載しておりますのでご覧ください。

ラジオ番組「わが街のわ。」に出演しました！



2月17日(水)にFMくらしきの情報ラジオ番組「love our community わが街のわ。」に、当院の広報企画担当が倉敷平成病院の担当者と出演しました。この番組は、当院も共催している「わが街健康プロジェクト。」の公式番組で、このプロジェクトの関係者が、毎回出演しています。今回のテーマは、「第6回公式PRポスター公募企画 あなたが選ぶ！サポーター賞 投票中」でした。当院の広報担当が学生の頃、このポスター企画に作品を応募したことがあり、声がかかりました。当時の経験と現在の仕事の内容を話しました。

災害対応訓練を実施



当院ではBCPの策定に取り組んでおり、まだまだ完成と言えるものではありませんが、現段階のBCPやアクションカードが実行可能なものか検証して見直す目的で、訓練を実施しました。休診日である木曜日(3月11日)に職員45名が出動して、大地震による停電を想定し、朝から夕方までかけて訓練を行いました。訓練全体を通じて各部署で多くのさまざまな気づきや多くの改善提案を報告がありました。今後さらにBCPやアクションカードの精度を上げ、来るべき実際の災害時に機能するものにしていきたいと思っております。

外来診察予定表

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 大森 一慶 (総・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖) 渡邊 真也 (総)	休 診	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 多田 蘇音 (総・糖) 十川 圭司 (総・糖)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 荒木 俊江 (総・糖)
		腎臓	福島 正樹 (腎) (紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消) 山本 直樹 (総・消)	
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	—		—	
	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	—		交代医師	交代医師
午後	専門外来 (予約)	—	(糖尿病・腎臓病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—	休 診	—	—	
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休 診	—	—	
小児科	午前	虫明 亨祐 河野 美奈	虫明 亨祐 今村 昌司	河野 美奈 今村 昌司	休 診	虫明 亨祐 河野 美奈	瀧 正史 虫明 亨祐	
		午後	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種		交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	今村 / 川田	今村 / 川田		今村 昌司	今村 昌司	
	午後 完全予約制	今村 昌司	今村 / 川田	今村 / 河野 / 川田		今村 昌司	今村 昌司	
外科	午前	平松 聡	平松 聡	平松 聡		休 診	平松 聡	平松 聡
ダイアライシスアクセス 専門外来	午前	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休 診	岡山大学 13:30~16:00	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休 診	—	—	
眼科	午後	岡山大学 第4月曜日13:30~16:00	—	—	休 診	—	—	

★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器
★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています ★福島正樹への新規ご紹介につきましては、完全予約制となっております。

★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中のみ)です。予め電話での予約が必要です。

★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約が必要です。
★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。

受付時間

午前 8:30~12:00

午後 13:30~16:30

(再診の方は、再来受付機にて8:00より受け付けています)

休診日 木曜・日曜・祝日

(急病の場合は、あらかじめお問い合わせをお願いいたします)

交通のご案内

岡山天満屋バスセンターから 12番乗り場

「重井附属病院」行き ▶ 約40分 終点下車

岡山駅東口バスターミナルから 5番乗り場

JR庭瀬駅から(約10分) ▶ 当院

140台
受診の方や面会の方は、無料で駐車できます。
なお、午前中の混雑時には係員の誘導に従ってください。
※盗難防止のため、貴重品の管理には十分ご注意ください。



医療法人 創和会
重井医学研究所附属病院
〒701-0202 岡山県岡山市南区山田 2117



関連施設
・しげい病院
・倉敷しげい訪問看護ステーション
・倉敷しげい居宅介護支援事業所
・岡山しげい訪問看護ステーション
・岡山しげい居宅介護支援事業所

FAX 086-282-4447 入退院支援センター(直通)

TEL 086-282-5311

FAX 086-282-5345